

I 第36週の発生動向 (2012/9/3~2012/9/9)

- 手足口病については、東地方+青森市保健所管内では第21週から、弘前保健所管内では第28週から、五所川原保健所管内では第31週から、上十三保健所管内では第32週から**警報**が継続しています。
- ヘルパンギーナについては、むつ保健所管内において新たに**警報**が発令され、東地方+青森市保健所管内では、第35週から**警報**が継続しています。

II 第36週五類感染症定点把握

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		(前週からの増減)	数	人/定点	数
(85) インフルエンザ															0				
(74) RSウイルス感染症	1	0.1	16	1.8	13	1.4	2	0.4	2	0.3				34	0.8			1	0.1
(75) 咽頭結膜熱															-1				
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.6	3	0.3	4	0.4			2	0.3			14	0.3	-3			5	0.6
(77) 感染性胃腸炎	17	2.1	3	0.3	3	0.3					12	3.0	35	0.9	-24			17	2.1
(78) 水痘	1	0.1			1	0.1	1	0.2	1	0.2	3	0.8	7	0.2	-7			1	0.1
(79) 手足口病	30	3.8	72	8.0	7	0.8	26	5.2	27	4.5	14	3.5	176	4.3	2			30	3.8
(80) 伝染性紅斑			4	0.4							1	0.3	5	0.1	3				
(81) 突発性発疹	6	0.8	4	0.4	3	0.3	2	0.4	10	1.7	1	0.3	26	0.6	3			6	0.8
(82) 百日咳															-1				
(83) ヘルパンギーナ	49	6.1	27	3.0	2	0.2	3	0.6	14	2.3	31	7.8	126	3.1	-3			49	6.1
(84) 流行性耳下腺炎	6	0.8	4	0.4	2	0.2					1	0.3	13	0.3	3			6	0.8
(86) 急性出血性結膜炎	1	0.5											1	0.1	1			1	0.5
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5					2	2.0					3	0.3	-5			1	0.5
(92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	9	9.0	3	3.0			5	5.0	19	3.2	3				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 青森市2人、弘前2人、八戸2人、五所川原1人、上十三1人 (2012年計:303人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 八戸1人、上十三1人 (2012年計:28人)

IV 病原体検出情報 ()内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・上気道炎患者1名(咽頭ぬぐい液、6/18)・・・ライノウイルス(HRV): 八戸(1)
- ・下気道炎患者10名(鼻汁、6/9~7/3)・・・ヒトメタニューモウイルス: 弘前(1)、HRV: 弘前(3)、RSウイルス(RSV): 弘前(4)、HRV及びRSV: 弘前(2)

感染症の窓

日本脳炎(四類全数把握疾患)

日本脳炎は、ブタの血液中のウイルスを蚊(コガタアカイエカ)が吸血し、その後ヒトを刺した時に感染し、ヒトからヒトへの感染はありません。

感染しても大多数は無症状ですが、感染者の100~1000人に1人が発症します。症状は、潜伏期間6~16日で、典型的な症例では数日間の高熱、頭痛、嘔吐等で発病し、意識障害、筋の硬直、脳神経症状等を呈します。重篤な急性脳炎では、死亡率は20~40%で、幼児や高齢者では死亡率が高くなります。

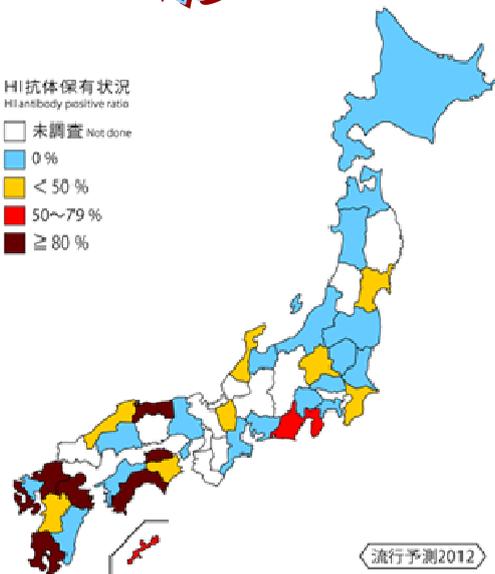
日本では、1960年代までは毎年多くの患者が発生しましたが、ワクチン接種により既に流行が阻止されています。

予防は、蚊の対策と予防接種です。

厚生労働省は、毎年夏にブタの日本脳炎ウイルス抗体獲得状況から、間接的に日本脳炎ウイルスの蔓延状況を調べています。それによると、毎夏日本脳炎ウイルスを持った蚊は発生しており、国内でも感染の機会はありません。(参考:「感染症の話」)

今年の8月までの調査では、県内のブタの抗体保有率は0%でした(図)。

HI抗体保有状況
 HI antibody positive ratio
 □ 未調査 Not done
 □ 0%
 □ < 50%
 □ 50~79%
 □ ≥ 80%



流行予測2012

図 ブタの日本脳炎抗体獲得状況 (2012年8月検査まで)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（掲載内容は最新情報です）単位：人 2012年第17週～第35週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
17	H24.4.23 ~ H24.4.29						
18	H24.4.30 ~ H24.5.6						
19	H24.5.7 ~ H24.5.13						
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	腸管出血性大腸菌感染症1人 E型肝炎1人	つつが虫病1人				
21	H24.5.21 ~ H24.5.27		梅毒1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3			後天性免疫不全症候群1人	つつが虫病1人		
23	H24.6.4 ~ H24.6.10			レジオネラ症1人		つつが虫病1人	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17			バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
26	H24.6.25 ~ H24.7.1						腸管出血性大腸菌感染症1人
27	H24.7.2 ~ H24.7.8		つつが虫病2人				
28	H24.7.9 ~ H24.7.15	つつが虫病1人					
29	H24.7.16 ~ H24.7.22						
30	H24.7.23 ~ H24.7.29		急性脳炎1人		つつが虫病1人		
31	H24.7.30 ~ H24.8.5	ジアルジア症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
32	H24.8.6 ~ H24.8.12	腸管出血性大腸菌感染症1人				風しん1人	
33	H24.8.13 ~ H24.8.19	腸管出血性大腸菌感染症2人				腸管出血性大腸菌感染症1人	
34	H24.8.20 ~ H24.8.26	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症5人		
35	H24.8.27 ~ H24.9.2	腸管出血性大腸菌感染症3人	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症3人	腸管出血性大腸菌感染症1人	

VI 結核(二類全数把握疾患) 単位：人 2012年第17週～第35週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
17	H24.4.23 ~ H24.4.29	3		7		1	
18	H24.4.30 ~ H24.5.6	2	1	7	1		
19	H24.5.7 ~ H24.5.13	3	1				
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	1	1	2	1	2	1
21	H24.5.21 ~ H24.5.27	2	1	2	1	2	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3	6	1	2		2	
23	H24.6.4 ~ H24.6.10	1	1	4	1	1	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17	3		3		1	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	3		3	1	1	
26	H24.6.25 ~ H24.7.1	2		1	1	1	
27	H24.7.2 ~ H24.7.8	1		2	2	2	
28	H24.7.9 ~ H24.7.15		3	7	2	1	
29	H24.7.16 ~ H24.7.22		1	3	2		
30	H24.7.23 ~ H24.7.29		2	2			
31	H24.7.30 ~ H24.8.5			2	1		
32	H24.8.6 ~ H24.8.12	2		3	3	1	
33	H24.8.13 ~ H24.8.19	1	2	3			
34	H24.8.20 ~ H24.8.26	4	2	1	1	1	
35	H24.8.27 ~ H24.9.2	1	3	1		1	

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

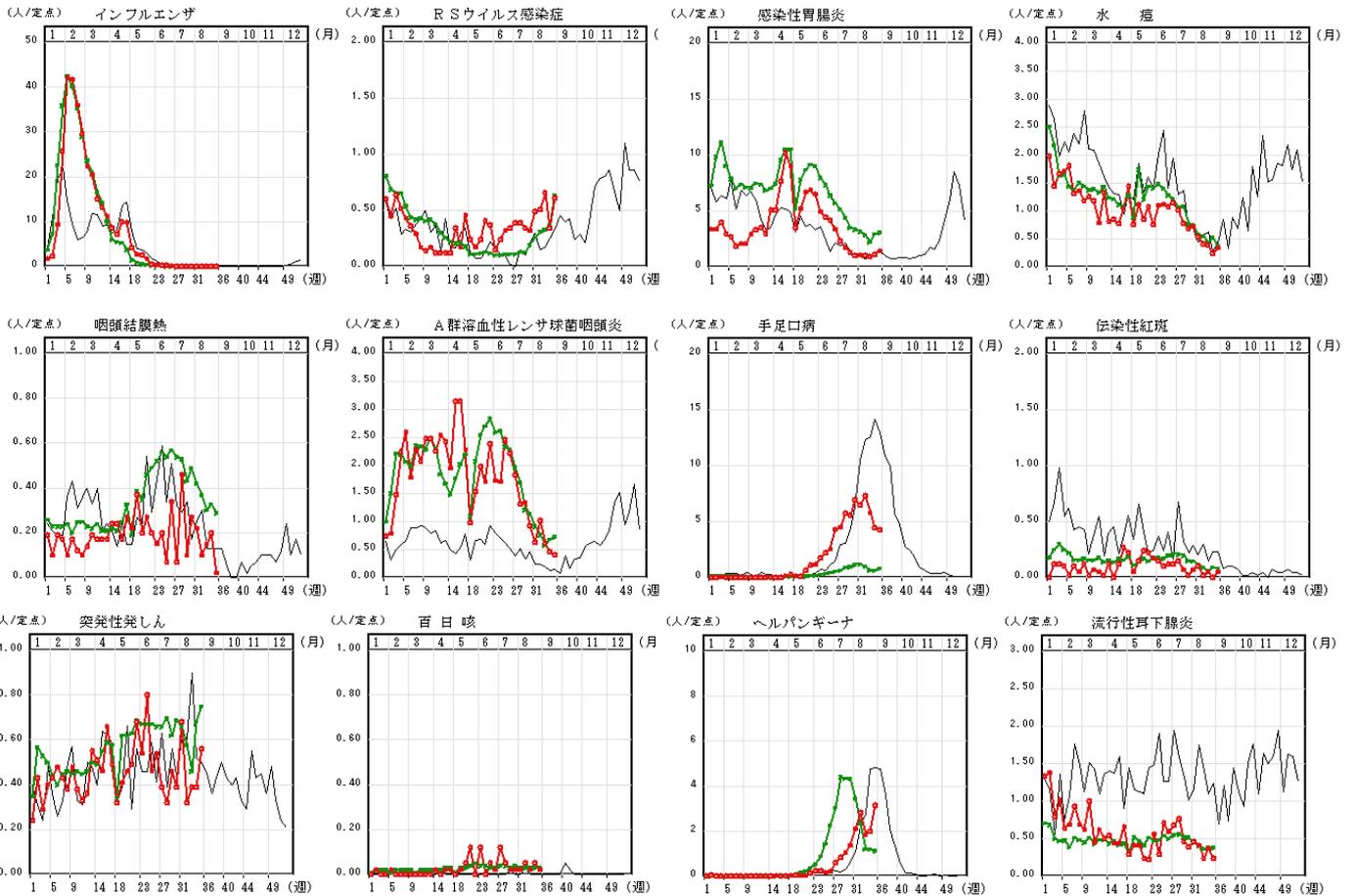
2012年9月11日9時00分集計速報値

	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
全国	19855	3	145	2522	21	14	87	122	8	5	1	4	195	126	80	3	55	9	557	11
青森県	300	0	0	25	0	0	1	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	3	0
	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト-ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん					
全国	596	144	271	6	123	174	938	46	9	1	584	74	64	1488	241					
青森県	2	0	3	0	0	1	3	1	0	0	3	0	1	1	0					

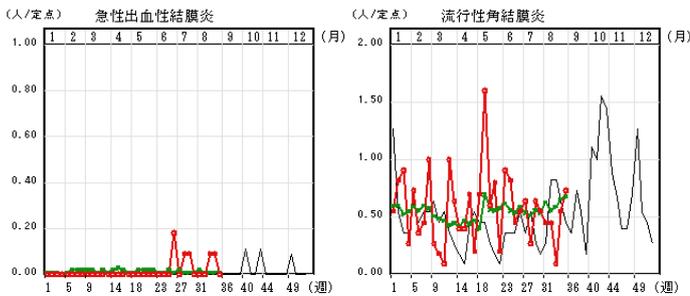
Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2012年第35週

グラフの説明 ○—○は2012年青森県、——は2011年青森県、×—×は2012年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2012年第35週



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 2012年第35週

